

◆歯科診療所備品購入に
825万円
エックス線装置、バキューム装置の更新

表示の金額は、一万円未満を四捨五入しています。

【副町長選任に同意】

平成25年6月19日に任期満了になる副町長に、石田貢氏（中央新町）を引き続き任命する提案があり、簡易採決により、同意しました。
なお、石田氏は平成17年6月から副町長に就任されており、任期は、平成29年6月19日までの4年間で

【条例制定等】

▼豊頃町課設置条例の一部改正
町の契約に関するものを企画課から総務課の所管に変更

▼豊頃町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例の制定
畜産担い手総合整備事業に充てるため、法に基づき、徴収する分担金に關し、必要な事項を定めた

▼豊頃過疎地域自立促進市町村計画の一部変更
計画に「河畔林伐採事業」「消防高機能指令センター」「定住促進等住宅取得補助事業」等を追加

▼物品の取得

戸籍電算化に伴う機器の導入

意見書

▷ TPP 交渉参加断固反対に関する意見書

▷ 地方財政の充実・強化を求める意見書

▷ 平成25年度北海道地域最低賃金改正等に関する意見書

▷ 義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率の復元など平成26年度政府予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

▷ 新たな高校教育に関する指針の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

主な審議内容

有害鳥獣駆除補助金の内容は？
①捕獲した方へ経費の国費補助
②新たに狩猟免許を取得した方へ定額補助
③狩猟税の補助
④解体設備整備の補助を行う。

町道路面性状調査委託で調査の結果、どの様に対応するのか？
今まで、町単費で修繕を行っていたが、今回の調査で、来年度から新設される国の補助事業に該当するものを修繕する。

茂岩末広町町営住宅前の舗装の傷みは冬期の凍上が原因では？
そのとおりなので、路盤を入れ替えて舗装をする。

パートナータウンの新築住宅の構造では、プライバシーが守られないのでは？
寝室が隣り合わせになっていて、押入れをはさんであり、更に防音効果のある資材を使い配慮する。

国道336号隣接の津波避難場所
所は常時出入りが出来るのか？
災害緊急時に備え、常時出入り出来るように考えている。

緊急時に避難場所への出入りが込み合うのでは？
避難場所は、国道に隣接した部分が約100メートル、奥行きが約30メートルで、通常は、ラバールで仕切りをし、常時出入りが可能な部分は、二箇所で約30メートルだが、緊急時には、100メートル全面を解放出来るような構造にし、安全に出入りできるように考えている。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

津波避難場所は常時出入りが出来るとゴミの放置や若者が車で暴走するなど管理の面で問題は無いのか？
国道と隣接している部分は、グレーチング等を設置するので、一部舗装するが、駐車帯は敷砂利で対応するので、暴走車の出入りは考えにくい。清掃等は、町で定期的に管理していく。

津波避難場所は常時出入りが出来るとゴミの放置や若者が車で暴走するなど管理の面で問題は無いのか？
国道と隣接している部分は、グレーチング等を設置するので、一部舗装するが、駐車帯は敷砂利で対応するので、暴走車の出入りは考えにくい。清掃等は、町で定期的に管理していく。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。

一般質問

町長3期目の町政は？

大谷 友則 議員

Q 協働のまちづくりの今後の推進についてどう考えるか？

A 宮口町長
平成20年から「協働のまちづくり地域提案事業」を創設し、地域の創意工夫の元、有効に活用されてきた。この5年間を総括しながら、より町の発展のため、町民の意見を聞きながら進めていく。

Q 地域からの提案事業については実績があるが、今後は次に進めていくべきでは？

A 宮口町長
地域の創意工夫による提案事業を今後も更に支援していきたい



地域提案事業（十弗豊寿会）

Q もっと、職員が住民の中に入って、一緒に協働のまちづくりを進めるべきでは？

A 宮口町長
職員は、住民のひとりなので、当然住民と一体となってまちづくりを進めていくべき。少子高齢化が進む中、ますます地域と行政が一体となってまちづくりを進めていかなければならない。

Q 茂岩治水事業所後の検討委員会の進捗状況は？

A 宮口町長
平成22年に設置し、検討を行ってきた。この地域は病院等福祉施設が集中しており、福祉ゾーンとして福祉団体とも協議を進めていく。



旧茂岩治水事業所

Q もっとスピードをあげて検討を考えては？

A 宮口町長
今年度秋には、目途を立てたい。

Q 高齢者住宅に取り組むことで、住宅不足が解消するのでは？

A 宮口町長
農村部に居住している高齢者には、利便のいい市街地への移住を進めている。できるだけ、高齢者に適した住宅を建設していきたい。

Q 建替えのために移住にして、車を持っていない方が車庫付きの住宅に入居になったりしているのでは？

A 宮口町長
入居者にあつた住宅を提供できるような助めたい。

Q 津波避難場所は常時出入りが出来るとゴミの放置や若者が車で暴走するなど管理の面で問題は無いのか？

A 宮口町長
国道と隣接している部分は、グレーチング等を設置するので、一部舗装するが、駐車帯は敷砂利で対応するので、暴走車の出入りは考えにくい。清掃等は、町で定期的に管理していく。

Q 津波に対する避難計画をどう進めるか、大津地域の方と協議している。道々の改修等については、早急に着手するよう、道に要請している。